

6 月度 例会 個人 山行報告書		報告者	津田廣一	参加メンバー	CL: 津田廣一 津田利栄子
		報告日	7/28		
山 域	北海道 増毛山地	山行日	17 年 6 月 22 日 (木)		
山 名	暑寒別岳(雨竜沼)		~23 日 (金)		
山行目的	念願の花の山・暑寒別岳に登る		コースタイム (天候: 天気図記号)		

配布先
総会参加数
山行: 1
リーダー
原紙:
会事務局



雨竜湿原 暑寒別が見える筈

6/22 (曇り)

9:00 ゲートパーク発

9:40 白竜ノ滝 1本 (5分)

10:10 展望台 1本 (10分)

10:30 周回入口

11:50 南暑寒別岳分岐

12:30 湿原入口 1本 (10分)

13:30 ゲートパーク着

6/23 (曇り時々晴れ)

4:05 暑寒荘発

5:05 佐上台 1本 (5分)

6:10 5 合目 1本 (5分)

6:50 滝見台 (7合目)

7:25 扇風岩 1本 (5分)

8:15 9 合目 1本 (5分)

9:05 暑寒別岳山頂 (20分)

10:15 扇風岩 1本 (5分)

12:30 暑寒荘着

一瞬の晴れ間

雨竜沼湿原

シラネアオイ

1/2.5 万地形図: 暑寒別岳・暑寒沢

〈山行報告〉【6/22; 雨竜沼湿原散策】6/21 の出発便が欠航となり、キャンセル待ちで千歳空港へ 4h 遅れで到着。天候の悪さと時間ロスの関係で神居尻山は断念、雨竜湿原の散策へ変更。道の駅「田園の里うりゅう」の建物内でテントを張って快適に就寝。目覚めると雨。建物内で大正解! 暖かいスープで身体を温め、天気回復に期待してゲートパークへ向かう。小雨の中、カッパを着て出発。散策と思っていたが、急勾配の登山道が続く。1h 程登ると平坦になり、展望台付近で小雨も止み、曇り空ながら薄日も時々差す様になって来た。水芭蕉、シナノキンバイ、チシマザクラ、シヨージョーバカマ等の花を愛で、超ポレポレペースで湿原を楽しむ。下山後、車に乗り込むや否やザーと強烈な雨、ラッキー! 明日の暑寒別岳を目指して、暑寒荘へと向かった。

【6/23; 暑寒別岳】5 年前に尻尾からの帰路に見て以来、登りたいと思っていた山だ。3時半に起き、張り切って4時に小屋を出る。樹林の中に入るや虫の洗礼を受ける。1h 歩き 1本取ろうにも、止まると顔の周りにも虫が集まって来る。汗ふきタオルを振り回しつつ、水だけ補給して先へ急ぐ。5 合目で、お握りを一つ急いで頬張り出立。滝見台でガスが切れかけてきたので写真のみ撮って通過。8 合目の扇風岩に至り、やっと虫が少し減ったかな? という感じで、唯一晴れた景色も楽しみながら行動食を食べる。このまま、“晴れてくれ”と思ったが、9 合目への登りの中に再びガスに覆われてしまった。道も平坦になり、道端の花を楽しみながら前へ

進む。頂上から降りてきた登山者と言葉を交わす。頂上に着くもガスって何も見えない。20 分程、粘ってみたが、残念! 360 度のパノラマは断念して下山開始。昨日、今日と、“又、おいで”と山が言っている感じつつ、昼過ぎに下山した。(エゾカンゾウの大群落も、見てないし、又来るか?) 「虫虫 タオル振る手に 力こめ」
「喘ぐ道シラネアオイが背中押す」

〈リーダー所見〉
天気には恵まれず、虫の多さにも閉口したが、花も多く、それなりに楽しめた山行だった。妻は、虫の多さから「もう行きたくない」との事だが、“雨竜沼～南暑寒別～暑寒別の縦走もいいな”と思えた。又の機会が訪れる事を期待して・・・



暑寒別山頂貸切だ～

確認
(リーダー)
津
17/07/28
田
作成
(報告者)
津
17/07/28
田